

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成20年7月24日(2008.7.24)

【公表番号】特表2008-502506(P2008-502506A)

【公表日】平成20年1月31日(2008.1.31)

【年通号数】公開・登録公報2008-004

【出願番号】特願2007-515870(P2007-515870)

【国際特許分類】

B 4 1 J 2/115 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 4 C

【手続補正書】

【提出日】平成20年5月30日(2008.5.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

最大電荷が印加されるようにインク滴に電荷を印加する最適時間をインクジェット印刷システムが判断する時に比較が行われる、該インクジェット印刷システムにおいてインク滴上の電荷が比較される閾値を調節するためのシステム（700）であって、

インク滴の流れを生成するためのノズル（710）と、

前記インク滴上の電荷を検出してそれを表す電荷信号を提供するためのセンサ（720）と、

前記電荷信号を分析して、各ピークがそれぞれの帯電インク滴に対応する信号内のピークを判断するためのピーク検出器（740）と、

前記電荷信号に存在する前記ピークに基づいて調節された閾値を記憶するための閾値記憶装置（750）と、

を含み、

前記調節された閾値は、前記電荷信号内のピークの所定数よりも少ないものが現在の閾値を超える場合は、該現在の閾値よりも下であり、該調節された閾値は、該電荷信号内のピークの所定数よりも多いものが該現在の閾値を超える場合は、該現在の閾値よりも上である、

ことを特徴とするシステム。

【請求項 2】

前記閾値記憶装置（750）は、デジタル電位差計（750）を含むことを特徴とする請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 3】

前記電荷信号を前記調節された閾値又は所定の基準値と比較するための比較器（770）を更に含むことを特徴とする請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 4】

前記調節された閾値と前記所定の基準値との間で選択するためのセレクタ（760）を更に含むことを特徴とする請求項 3 に記載のシステム。

【請求項 5】

前記電荷信号を前記ピーク検出器（740）によるその分析の前にフィルタ処理するためのフィルタ電子機器（730）を更に含むことを特徴とする請求項 1 に記載のシステム

。

【請求項 6】

前記ノズル（710）によって生成された前記インク滴上の電荷を検出するための第2のセンサを更に含み、該第2のセンサは、前記インクジェット印刷システムのインク捕捉器（30）に位置しており、該第2のセンサは、第2の前記電荷信号を提供することを特徴とする請求項1に記載のシステム。